

# 事業紹介

平成29年度に佐賀県教育委員会において重点的に行う事業の一例を紹介します。

- 学校教育ネットワーク情報セキュリティ対策強化事業
- 学力向上重点対策事業
- グローバル社会で生きぬく SAGA 人材づくり事業
- 高校教育改革プロジェクト事業
- 特別支援教育第三次推進プラン整備事業
- 県立特別支援学校におけるスクールバス運行事業
- 児童心理治療施設開校に伴う特別支援学校分校整備事業
- さがを誇りに思う教育推進事業
- 次期学習指導要領研究事業
- 不登校対策総合推進事業
- 「明治維新150年記念」工業高校生ものづくり事業
- 高校生の文化芸術活動育成強化事業
- 第43回全国高等学校総合文化祭開催準備事業
- ICT利活用による学校支援関連事業
- 子どもの体力向上推進事業
- 栄養教諭等研修事業
- がんの教育推進事業
- 性に関する指導推進事業
- 文化財整備費補助事業
- 研修講座事業
- 研究調査事業

## 学校教育ネットワーク情報セキュリティ対策強化事業（教育総務課）

### 事業概要

学校教育ネットワークへの不正アクセス事案を受け設置した佐賀県学校教育ネットワークセキュリティ対策検討委員会提言を踏まえて策定した実施計画に基づき、教職員研修及び監査等を実施することにより、情報セキュリティ対策の強化を図る。

### 現状認識・成果

- 基礎的・実践的セキュリティ知識の欠如
- 監査の未実施

### 平成29年度のねらい

- セキュリティ文化の確立
- 情報セキュリティ体制の強化
- セキュリティ／システム監査の実施

### 主な具体的事業内容

- 監査の実施（内部監査（運用）／外部監査（システム））
- 教職員、県教委事務局職員への研修の実施
- セキュリティ強化対策の立案・実施への支援業務を専門のコンサルタントに委託

## 学力向上重点対策事業（教育振興課）

### 事業概要

学力向上に関する施策などを通じた教育現場の支援やその効果検証を通じて、指導法の改善・充実を図るとともに家庭・地域との連携を推進するなど、学力向上に向けた総合的な取組を推進する。

### 現状認識・成果

- 全国調査や県調査等を活用した学力向上のP D C Aサイクルの徹底が十分ではない
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力が不足している
- 家庭学習の時間が不足しており、学習習慣を定着させていく必要がある

### 平成29年度のねらい

- 学力向上対策検証・改善委員会の充実（役割等の明確化）
- 県調査の改善・充実（より有用感を高めるための在り方検討）
- 継続と徹底の方針のもと新P D C Aサイクルの定着と各学校の主体的な授業改善に向けた取組の推進
- 家庭・地域と連携した家庭学習の充実に向けた啓発

### 主な具体的事業内容

- 学力向上対策検証・改善委員会の開催
- 学力向上推進教員配置事業
- 放課後等補充学習支援事業
- 児童生徒の活用力向上研究指定事業
- 学力向上フォーラムの開催

## グローバル社会で生きぬく SAGA 人材づくり事業 (教育振興課)

### 事業概要

グローバル化の進展に対応するため、中学生及び高校生に国際的な視野とコミュニケーション能力を身に付けさせることにより、将来グローバル社会で活躍する人材の育成を図る。

### 現状認識・成果

- 海外留学・研修や国内での体験的英語活動への参加者は年々増加しており、中高生に対してグローバル人材の素地を養う機会は拡大しているが、更なる機運醸成や機会拡大が必要である
- 海外留学・研修及び国内研修の参加者等への意見聴取等により、これまでの事業の成果や課題等を検証する必要がある

### 平成29年度のねらい

- 海外留学等に対する助成や体験的英語活動の実施を通して、グローバル人材の育成に取り組む
- 海外留学等のすそ野を拡大するため、留学や異文化への興味・関心を喚起する取組を推進する
- 教職員の海外研修を実施し、より実践的な英語の運用力や授業力を高める
- これまでの事業の検証により、今後の施策の改善・充実を図る

### 主な具体的事業内容

- 海外留学等への助成及び県主催の海外研修の実施
- 体験的英語活動の実施（イングリッシュ・デイ、英会話・国際理解合宿セミナー等）
- 海外留学等への機運醸成事業（海外留学ガイダンス、グローバル人材講師派遣等）
- 教職員の海外研修等の実施

## 高校教育改革プロジェクト事業 (教育振興課)

### 事業概要

佐賀県立高等学校・中学校の教育課題の抽出と解決に向けた研究を行うため、高校教育改革プロジェクト会議を設置し、研究・協議を行う。

### 現状認識・成果

- 県立高等学校入学者選抜制度検討委員会からの報告を踏まえた高校入試制度の見直しの検討が必要

### 平成29年度のねらい

- 「オープン」、「現場」を大切にしながら、学校やPTA等広く県民からの意見を聴くなどして、高校入試制度の一層の充実に取り組む

### 主な具体的事業内容

- 高校教育改革プロジェクト会議の開催
- 入試制度検討に係る作業部会の開催
- 中学校、高等学校及びPTA等からの意見聴取

## 特別支援教育第三次推進プラン整備事業（特別支援教育室、教育総務課）

### 事業概要

特別支援教育第三次推進プランに基づき、児童生徒数の増加が顕著な大和特別支援学校の教育環境の整備を図る。

### 現状認識・成果

- 児童生徒数の顕著な増加
  - 教室不足の長期化
  - プレハブ校舎の使用
- } ○ 本校増築に向けた取組（工事着工）

### 平成29年度のねらい

- 教室不足の改善

### 主な具体的事業内容

- 大和特別支援学校本校の教室を増築
- 大和特別支援学校の分校設置に向けた取組

## 県立特別支援学校におけるスクールバス運行事業（特別支援教育室、教育総務課）

### 事業概要

自力での通学が困難な県立特別支援学校の児童生徒の通学を支援するとともに、保護者等の送迎に係る負担軽減を図るため、スクールバスを運行する。

### 現状認識・成果

- 保護者等送迎の児童生徒が増加
- 児童生徒の多くは自力通学が困難
- 送迎は保護者等にとって大きな負担

### 平成29年度のねらい

- 児童生徒等の通学の支援
- 保護者等の送迎に係る負担の軽減

### 主な具体的事業内容

- 県立特別支援学校6校で各1コース、計6コースでスクールバスを運行（平成29年6月～）
- このうち2校について、校内乗降場所等の必要な施設整備

## 児童心理治療施設開校に伴う特別支援学校分校整備事業（特別支援教育室、教育総務課）

### 事業概要

社会福祉法人による児童心理治療施設の開設（平成30年4月予定）に合わせて、施設に入所する児童生徒が安心して学習できる環境を確保するため、新たに県立唐津特別支援学校の分校を設置する。

### 現状認識・成果

- 軽度の情緒障害を有する児童生徒の治療を目的とした児童心理治療施設が開設予定
- 施設に入所する児童生徒を対象とした教育環境の整備が必要

### 平成29年度のねらい

- 施設に入所する児童生徒を対象とした県立特別支援学校分校の施設及び備品等を整備

### 主な具体的事業内容

- 対象一児童心理治療施設に入所する児童生徒30名
- 障害種別一病弱
- 社会福祉法人が整備する教育施設（約1,891㎡）の買取り
- 分校開校に必要な教材・一般備品等の整備

## さがを誇りに思う教育推進事業（学校教育課）

### 事業概要

佐賀に関わる歴史や文化、人物などを学ぶことにより、ふるさと佐賀に対し誇りと自信を持つ人材の育成を図る。

### 現状認識・成果

- 各小・中学校において、他の地域のよさについて、十分に理解されているとは言い難い
- 高等学校において、佐賀県のよさについて学ぶための共通した教材がないため佐賀のことを学ぶ授業がなされていない

### 平成29年度のねらい

- 小・中・高等学校の児童生徒に、県内の様々な地域のよさや、佐賀県ならではのよさを理解させる取組の促進を図る
- 高等学校における郷土学習資料を活用した取組の充実を図る

### 主な具体的事業内容

- さがを誇りに思う教育フェスタの開催（児童生徒のふるさと佐賀県に関する学習成果の発表、佐賀県の歴史や文化等の疑似体験 など）
- さがを誇りに思う児童生徒を育むための教員研修の実施
- 県立高等学校における佐賀県に関する講演会の開催
- 郷土を愛する心を育む市町や学校の取組の紹介

## 次期学習指導要領研究事業（学校教育課）

### 事業概要

次期学習指導要領改訂の目的と内容に詳しい講師を招聘し説明会を開催するとともに、次期学習指導要領の全面実施に円滑に移行できるよう、研究指定校による研究を推進し、具体的な指導方法や学校の体制づくり等の成果を県内すべての学校に普及する。

### 現状認識・成果

- 次期学習指導要領が平成28年度末に告示され、小・中学校は平成30年度から、高等学校は平成31年度から先行実施されることから、その後の全面実施に円滑に移行できるよう、課題の検討が必要

### 平成29年度のねらい

- 次期学習指導要領の全面実施を見据えて、県内の小・中・高等学校への内容の周知徹底を図る
- 各教科・領域における実践研究を推進し、成果を普及する

### 主な具体的事業内容

- 次期学習指導要領の説明会を実施
  - ※ 全小・中・高等学校から各学校2～3人程度参加予定
- 次期学習指導要領の全面実施に向けた研究を教科ごとに推進
  - ※ 研究指定校 10校（小・中学校各4校、高等学校2校）

## 不登校対策総合推進事業（学校教育課）

### 事業概要

自宅にこもりがちな状況から、登校はできるが教室には入れない状況など、不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた段階的な支援を整備することにより、学校復帰の道筋を明確にした総合的な不登校対策に取り組む。

### 現状認識・成果

- 小・中学校については3年連続で不登校が増加している
- 不登校の状況に応じた段階的支援のさらなる充実を図り、学校復帰の道筋を明確にした総合的な不登校対策を一層充実させる必要がある

### 平成29年度のねらい

- 不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた段階的支援をより一層充実させる
- 関係機関等との連携をより一層図ることで、個々の状況に応じた支援体制の充実に努める

### 主な具体的事業内容

- 不登校の課題を抱える公立中学校への非常勤講師の配置
- スクールソーシャルワーカーの派遣
  - ・ 小学校への派遣を充実
- 佐賀県教育センターに教育相談の専門家を配置
- 中学校の空き教室を活用した市町適応指導教室の取組を支援
- 民間団体と連携した支援員による家庭への訪問支援

## 「明治維新150年記念」工業高校生ものづくり事業（学校教育課）

### 事業概要

明治維新150年事業を機に、工業高校生が、将来日本のものづくりをリードするような人材となるため、新しい技術を用いて幕末・維新に関連する課題研究に取り組むとともに、取組の成果発表等を通して佐賀への誇りと愛着・郷土愛の醸成を促す。

### 現状認識・成果

- 幕末・維新时期の佐賀の偉業や偉人の活躍について知らない小・中学生、高校生が少なくない
- 明治維新150年を機に、幕末・維新时期の佐賀のものづくりについて再認識する必要がある

### 平成29年度のねらい

- 工業高校生を、将来、日本のものづくりをリードするような人材として育成するとともに技術力の向上を図る
- 工業高校生はもとより、多くの人々に対して佐賀への誇りと愛着・郷土愛の醸成を促す

### 主な具体的事業内容

- 幕末・維新时期の日本のものづくりをリードしていた佐賀の「技・人・志」についての調査研究を実施
- 新しい機器や新しい技術を用いた、幕末・維新时期に関連する作品の制作
- 製作した作品を校内課題研究発表会等で展示・発表

## 高校生の文化芸術活動育成強化事業（全国高総文祭開催準備室）

### 事業概要

県内の高等学校において、文化芸術活動に取り組む生徒の育成・強化対策を講じ、文化芸術の振興を図ることで、文化や芸術を大切にする心を育む。

### 現状認識・成果

- 県内の高等学校における文化芸術活動の振興を図るため、備品整備等を通じて一定の環境整備はできた
- 佐賀県高等学校文化連盟各専門部に対し、活動の一層の活性化及び部員数増を図るための文化部各専門部に対する支援が必要である

### 平成29年度のねらい

- 佐賀県高等学校文化連盟各専門部に対し、生徒対象の講習会や指導者対象の研修会等の充実のための支援を行う
- 広報誌で高等学校における活動状況等を周知するなど、文化芸術活動の活性化の機運を醸成する

### 主な具体的事業内容

- 佐賀県高等学校文化連盟への補助
  - ※ 連盟が補助金を活用し、以下の研修会等を実施
    - ・ 指導者対象の研修会の実施
    - ・ 生徒対象の研修会の実施
- 県内すべての中学生及び高校生へ文化部活動の広報誌を配布

## 第43回全国高等学校総合文化祭開催準備事業（全国高総文祭開催準備室）

### 事業概要

平成31年度に佐賀県で開催される、第43回全国高等学校総合文化祭（全国高総文祭）佐賀大会の円滑な開催のための諸準備を行う。

### 現状認識・成果

- 平成31年度の佐賀大会の円滑な運営のため、先催県の情報を収集、準備委員会の開催等、必要な準備は、確実に行えている
- 一方、大会を開催することについての県民に対する十分な周知がなされているとは言い難い

### 平成29年度のねらい

- 実行委員会をはじめとする運営組織を整備し、生徒を先催県に派遣するなど、開催に向けた具体的な準備を行う
- 中学校・高等学校をはじめ、各市町においても積極的な大会の周知を図り気運の醸成に努める

### 主な具体的事業内容

- 佐賀県実行委員会の設立及び第1回実行委員会の開催
- 生徒実行委員による先催県の視察
- 生徒実行委員会等関係委員会の設立及び開催
- 佐賀大会の広報（大会ホームページ制作、大会グッズ作成等）

## ICT利活用による学校支援関連事業（教育情報化支援室）

### 事業概要

ICT利活用教育の推進に全県規模で取り組み、今日の高度情報化、グローバル社会で必須とされるコミュニケーション能力や情報活用能力等、生き抜く力の育成・習得に向け、教育の質の向上を図る。

### 現状認識・成果

- 小中学校において「ICTを利活用した授業を受けるのが楽しみである児童生徒の割合」（指標1）が目標を達成できなかった
- 県立高校において、すべての教員がより実践的、現場に即した指導が行える改善・充実が必要がある
- また、ICT機器のトラブル等への迅速な対応や教員の負担軽減を図る必要がある

### 平成29年度のねらい

- 小中学校においては、授業研修会の充実を通して、授業そのものの魅力や授業への期待感を高める取組を行う
- 県立高校においては、学校種や教科に応じた研修等、指導法の改善・充実を主眼においた研修を実施する
- また、トラブル対応、自主作成教材作成支援等を行うヘルプデスク現地員を配置し、教職員の負担軽減を図る

### 主な具体的事業内容

- 情報化推進リーダー研修の実施
- ICT利活用教育推進チームによる支援
- ヘルプデスク現地員（各県立学校へ配置）による、トラブル対応及び教材作成支援



## 子どもの体力向上推進事業（保健体育課）

### 事業概要

子どもの体力向上を図るため、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」等の結果をもとに各学校において改善に役立つ具体的方策を提案し支援する。

### 現状認識・成果

- 体力合計点で小学生5年生男女が全国平均を下回っていたが、H28では男子は上回り、女子は下回ったもののその差は縮まっている

### 平成29年度のねらい

- 児童生徒の健康や体力の向上について、学校体育・スポーツと生活習慣や食生活に関する指導を関連づけ、学校・家庭・地域が連携して取り組む

### 主な具体的事業内容

- 体力・運動能力の現状把握と分析及び課題の抽出
- スポーツチャレンジを通じた運動に親しむ環境の改善充実
- 体力記録個票の配布など体力向上に向けた家庭・地域との連携

## 栄養教諭等研修事業（保健体育課）

### 事業概要

学校での食育を総合的・継続的に推進するため、食育推進担当者や学校給食関係の教職員を対象とした研修会、授業研究会を開催する。

### 現状認識・成果

- 児童生徒の食生活については、学校、家庭、地域が連携して、児童生徒の望ましい食習慣の形成に努める必要がある

### 平成29年度のねらい

- 子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組む

### 主な具体的事業内容

- 食育推進研修会の開催
- 食育月間における早寝早起き朝ごはん実践カードの作成・配布
- 異物混入防止対策研修の実施

## がんの教育推進事業（保健体育課）

### 事業概要

がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解を深めるため、「がんの教育に関する計画」を策定し、学校におけるがんの教育を推進する。

### 現状認識・成果

- 小中高の推進校のモデル授業実践・公開を実施している
- がんの教育に関する教職員の意識向上を図る必要がある

### 平成29年度のねらい

- がんの教育に係る取組（教材の活用等）の普及啓発を図る
- 各関係機関等と連携して教職員の意識向上を図る

### 主な具体的事業内容

- がんの教育に関する協議会の開催
- がんの教育推進校における教材開発及び授業実践
- がんの教育指導者研修会の開催

## 性に関する指導推進事業（保健体育課）

### 事業概要

県立学校及び市町立の学校で実施される講演会等に講師を派遣し、性に関する指導の充実を図る。また、性に関する指導に係る研修会等を開催し、各学校の性に関する指導に携わる指導者の育成を行う。

### 現状認識・成果

- 全ての公立学校が性に関する指導を学校保健計画に位置づけ実践

### 平成29年度のねらい

- 各学校への講師派遣を継続し、学校における性に関する指導の充実を図る
- 性に関する指導に携わる教職員の指導力向上を図る

### 主な具体的事業内容

- 県立学校及び市町立中学校に専門医等を派遣し、講演会や研修会を実施
- 性に関する指導推進連絡協議会の開催
- 性の健康教育指導者研修会の開催

## 文化財整備費補助事業（文化財課）

### 事業概要

佐賀県内に所在する文化財の保存及び活用のため、市町並びに市町以外の文化財の所有者（管理団体を含む。）が実施する文化財保存事業に対して補助を行う。

### 現状認識・成果

- 国指定・県指定文化財等の保存・整備に対する補助により文化財の保全と活用が図られ、また、市町が実施する発掘調査事業や重要遺跡確認調査事業等に対する補助により埋蔵文化財保護を円滑に進めることができた

### 平成29年度のねらい

- 市町の文化財保護担当者との連携を密にし、補助事業の進捗状況を詳細に把握したり、各補助事業に伴い市町が開催する委員会へ参加し、事業の内容や進め方について、適切な助言・指導を行うことで、文化財等のより効果的な保存・整備が図られるようにする

### 主な具体的事業内容

- 基肆（椽）城跡保存整備基本計画策定事業への補助
- 唐津曳山（飛龍・鯛）保存修理事業への補助
- 伊東玄朴旧宅保存修理事業への補助
- 市・町内遺跡発掘調査等事業への補助

## 研修講座事業（教育センター）

### 事業概要

次期学習指導要領の趣旨を踏まえ、教職員の資質向上を図るとともに、学校力向上に資するため、社会の変化に対応した研修を計画・実施する。

### 現状認識・成果

- 次期学習指導要領の趣旨を踏まえた指導に関する情報のニーズは大きい
- 大量採用時代に突入し、若手教員の指導力向上が急がれる
- 学校の多忙化が深刻である

### 平成29年度のねらい

- 次期学習指導要領の趣旨を踏まえた研修講座を設定する
- 若手教員の指導力向上を目指した研修講座を拡充する
- 忙しい教員が参加しやすい研修講座を拡充する

### 主な具体的事業内容

- 次期学習指導要領の趣旨を踏まえた研修講座の大幅増
- スーパーティーチャーの技術を学ぶ「STに学ぶ講座」の拡充
- 中堅教員の育成を目指した「ミドルリーダー養成研修」の拡充
- 県内各地で15:00から行う「ワンポイント出前セミナー」の本格実施
- 土曜日実施の自主研修「サタデーセンター」の本格実施

## 研究調査事業（教育センター）

### 事業概要

次期学習指導要領の趣旨を踏まえたこれからの指導の方向性を明らかにしていく研究に学校の教員と協働しながら取り組み、研究成果の学校への周知を図る。

### 現状認識・成果

- 次期学習指導要領が告示され、平成29年度から周知期間に入る
- 次期学習指導要領を具現化したこれからの指導の方向性について知りたいという学校のニーズは高い

### 平成29年度のねらい

- 次期学習指導要領についての理解を深め、その具現化を図るための研究（主として教科研究）に取り組む
- 研究の過程及び成果については、適宜、検証授業の公開などを通して、学校への周知を図る

### 主な具体的事業内容

- プロジェクト研究の実施
- 個別実践研究の実施
- 研究成果の学校への周知（検証授業の公開、研修講座、学校支援、Web公開）

